

県内大学でも秋入学の導入を

開倫塾

塾長 林明夫

1. 海外からの優秀な学生を獲得し、大学としての国際競争力を強めるために、東京大学が秋入学を発表し、多くの大学がこれに追随しようとしている。
2. 私は別の意味で、秋入学には大賛成だ。高校を卒業して大学や短期大学、専門学校などの高等教育機関とよばれるところに進学する人は、80%を超えようとしている。これらの人の中には、高校時代にあまり勉強しない人、または、勉強はしても受験科目だけしか勉強しない人が多数存在する。
3. 大学等の勉強の基礎となる中学校や高校程度の勉強をあまりせずに入学すると、授業についていけず、留年や退学の原因にもなりかねない。大学等を無事卒業しても、学力不足のままでは、就職が難しいという現実がまっている。
高校3年生で入学が決定した時点から秋入学までは半年以上ある。その間に、不足している中学校や高校の勉強を十分に行ったらどうか。
4. 一方、中高年者を中心に社会人の中には、中学校や高校の勉強をもう一度学び直したい人がたくさんいる。栃木県内の大学や短期大学、専門学校は、高校や中学校と連携してコミュニティカレッジを設立し、学力不足の高校卒業生と中学校や高校の勉強をもう一度やり直したい中高年の社会人の双方に学習の機会を提供したらどうか。
5. 「勉強の足りない No Study Kids(ノー・スタディ・キッズ)に大学の授業は成立するか」が日本リメディアル教育学会でまじめに論じられているほど、高校生の学力不足問題は深刻だ。
6. 中学校3年生の受験生や高校生は、何のために高校に進学するのか、また、進学したのか、高校に行き何を学ぶのか、高校卒業後はどのような進路をとりたいのか、社会に出て何がしたいのか、どのような人生を歩みたいのかななどを、自分の力で真剣に考えて頂きたい。
7. 高校も、大学等の合格実績を競わず、高校を卒業するまでに何をどのように学ばせるかを真正面から考えて頂きたい。
8. 高校生は全教科をしっかり勉強し、自分の力で未来を切り開いてもらいたい。